

# アンテナ店で 信州売る

【松本】長野県内の市町村が大都市圏に開くアンテナショップが増えている。県内の特産品は一口に「長野」「信州」といわれるが、南北に長く地域により個性も様々。大都市圏で地域ブランドの知名度を高めて、販売拡大につなげようという狙いだ。出店先も東京都心部一辺倒から変わりつつある。今後は国の補助などに頼らず自前で店を維持していけるかが課題となる。



塩尻市の期間限定のアンテナ店はオープン直後からにぎわった(名古屋市)

## 市町村相次ぎ開設 名古屋や福岡にも

## 地域ブランド浸透へ

名古屋市のアンテナショップ。6月20～24日の期間限定でFM愛知の約30平方メートルのスペースを借り、ワイン、木曾漆器のほか、塩尻から毎日直送したレ

名古屋市に登場した塩尻市のアンテナショップは11店舗。2010年以降では大町市、富士見町、木曾町の3市町が東京都内に、宮田村が名古屋市内に開設した。実際には首都圏・中部圏以外への出店もある。

「ワインといえば甲府」というイメージで塩尻は知らなかったが、ラジオを聴いて(塩尻産アドウの)ナイアガラのワインが飲みたくなった」と、来場者には好評。5日間でのべ1100人が来場、91万円を売り上げた。塩尻市では10月にも同じ場所に店を開き、常設型の施設を今後検討する。

長野県のまとめによると、市町村が開設済みのアンテナショップ(首都圏・中部圏のみの集計)は11店舗。2010年以降では大町市、富士見町、木曾町の3市町が東京都内に、宮田村が名古屋市内に開設した。

小布施町は3月の九州新幹線の全線開業に合わせJR博多駅(福岡市)に出した。今年度予算に400万円を盛り込み、運営は町振興公社に委託。リンゴジュース、栗の甘露煮などを取り扱っている。「東京は近いので百貨店などの販売ルートがあるが、九州は競合が少なく、東アジアに向けた窓口にもなる」と同町の担当者は言う。

長野県も昨年4月、ロソンと組んで東京都中央区にアンテナショップを開業、7月には名古屋に2店舗目を開設する。一方で飯田市、南信州広域連合などが名古屋に08年に出店した「南信州ファームプロダクツマーケット」は今年9月末で営業を終える。「面積も狭く、店だけで採算があわなかった」(飯田市農業課)アンテナショップに詳しい高い創造研究所(東京・千代田)の松本大地代表は「市場が大きな首都圏ならば何とかなるだろうという安易な店舗が増えており、消費者もそれを見抜いてしまつ」と指摘する。一過性のブームに終わらせないために丁寧な店作りが求められる。